

お客様への メッセージ

このたびの東日本大震災により、被害に遭われた地域の皆さまにおかれましては、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。 社員一同

CONTENTS

長期投資仲間へのメッセージ vol.50

『リスクと向き合う長期投資』

セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓

ゲストからの応援メッセージ

『寄付活動と長期投資は日本再生のための漢方薬』

日本フィランソロピー協会 理事長 高橋陽子氏

セミナー・イベント情報

・「未来へつながる資産形成のススメ」

～私たちのための幸せなお金の活かし方!～

by草食投資隊(沖縄・那覇)

・フランスから緊急来日!トップマネージャーが語る欧州企業の魅力

「資産運用、本気で考えれば長期“国際分散投資”」(東京・丸の内)

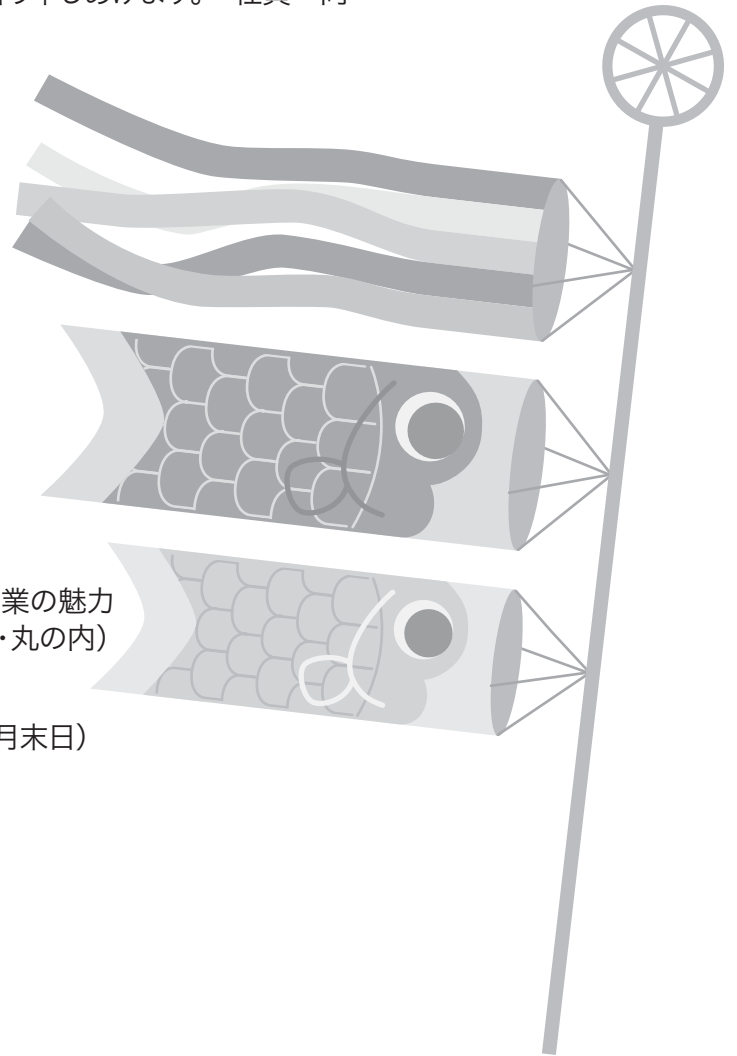
セゾン投信からのお知らせ

買付・解約 受付不可日のお知らせ(2011年5月9日～7月末日)

セゾン投信の素顔

メンバーが感じる日々の雑感

| | |
|----------|---|
| 発行 | セゾン投信株式会社 |
| 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第349号 |
| 加入協会 | 社団法人投資信託協会 |
| お問合せ先 | セゾン投信お客様窓口 電話03-3988-8668(受付時間9:00～17:00 土日祝、年末年始を除く) http://www.saison-am.co.jp |



■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



2011年5月6日

長期投資仲間へのメッセージ Vol.50 「リスクと向き合う長期投資」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

復旧復興に向けて

東日本大震災から2ヶ月が経とうとしています。特に津波の被災地では復旧というにはほど遠い状況で、一面ガレキの山の惨状はあの日以来変わらず、避難所で未だ寝泊りを強いられている被災民の方々の辛苦を想うと、お気の毒の極みと胸が痛くなります。

政府の場当たりの対応が国民の憤りを誘っていますが、併せて私たちが実感出来るのは、縦割り行政の制度疲労と利権が絡み合った歪みによる非合理的遅滞といった、我が国の統治構造から生じている悪弊が今回すべての国民に知らしめられる処となり、それが同時に戦後高度経済成長を通じて連綿と積み上げられて来た国家・政府への信頼失墜へとつながっていることです。

「3.11」は忌まわしき未曾有の惨劇ではありますが、この厳しすぎる試練をもって、お上任せで思考停止させられていた日本国民を、自ら考えて事象を推し量り行動する自立生活者へと覚醒させる歴史的出来事に昇華させねばならない、そうでなくして日本に生き続ける者たちが多くの犠牲に報いることは出来ない！と強く想うのであります。

リスクを見ない日本人

今回の震災が引き起こした原発事故は、あらゆる復興を妨げる視界不良の濃霧となって立ち塞がる大問題ですが、私たちは決してメディア的情绪に流されてはいけない、この問題の本質とリスクをしっかりと認識し理解する思考を持つことが、新生日本への第一歩だと言っても過言ではありません。

それはリスクと正しく向き合う、当たり前前勇気を持つことにほかなりません。今回の原発事故を東電は「想定外」という概念で自己弁護しました。しかしどうやら想定を自ら甘くし、危険性から目を背けて、安全神話なるものに固執した結果の人災である可能性が高そうです。

原発周辺地域の農産物も風評被害のひとつくくりで片付けて、その危険性の本質を詳らかにすることを避けている！常に希望的観測が世論にされてしまうような、そんな今の日本の風潮には、自らの社会を自ら本気で護り抜く気概が欠落していると、大いなる危惧を抱きます。

年間被爆総量を1ミリシーベルトから20倍に、さりげなく引き上げて尚安全と言い続けている政府を、国民の生命こそ最優先とを考えてくれる縁（よすが）と捉えていいものか。私たち生活者はこの際甘ったれた安全神話と決別し、自らの判断基準を持って自らの行動の縁（よすが）とすべき転換点に生きているのです。

長期投資とリスク

日本では投資に関してもリスクには向き合わず、そのくせリターンは欲しいという無理筋な投資家が後を絶ちません。

それは真面目な投資では到底なく、無いものねだりで独りよがりな我欲のゲーム。するとひとたび今回の震災のような出来事が起きれば、我れ先にと現金化にひた走ってしまう、残念な投資経験を繰り返してしまうのです。

そもそも証券投資の教科書には、リスクとは価格の変動のことであると説明されていますが、それ

は単なる値動きの幅のことであって、本来あるべき投資すなわち本物の投資におけるリスクとは、あくまで損失の可能性のことなのです。

長期投資家にとっては、社会における価値が毀損する将来可能性のことをリスクと捉えるのであって、一時的な価格変動による評価損をリスクと見るから、価格が下落すると投資をやめたくないので

す。つまり価値は変わらないのに価格が下がるとすれば、それはリスクではなく投資機会！それが本物の投資=長期投資の基本です。

将来への信念

さて「セゾン号」の長期投資家の皆様！長距離列車「セゾン号」は、21世紀グローバルゼーションという大河の流れを見据え、地球経済が将来にわたってしっかりと拡大・成長・発展するとの信念の基で、ゆったりと運行しております。

そして乗客の皆様がその信念を共有していただけているなら、グローバルゼーションの大河にしっかりと乗る「セゾン号」の価値がちゃんと育っていく、つまりはリスクに見合う将来リターンを得られるのだという信念が持てるはずで

す。価格の変動に惑うことなく、将来の価値を見据えて行動するのが長期投資家。即ちそれは正しくリスクと向き合うことなのです。

日本の生活者は今、自ら考え行動する社会への転換の必要性を痛感し始めています。そして、私たち長期投資家は既に先を歩んでいると、改めて気付いて戴けることでしょう。

ゲストからの応援メッセージ

「寄付活動と長期投資は日本再生のための漢方薬」

公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長 高橋 陽子氏



このたびの東北太平洋沿岸大震災では、日本の抱えている課題が浮き彫りになりましたが、はっきりしたことが主に3つあると思います。一つは、私たちの暮らしや経済のあり方そのものを根本から考え直すことが必要であるということ。もう一つは、行政や他人に依存するのではなく、自分自身が社会を創る主体としての自覚を持ち、できることをするという。そして最後に、日本人には、助け合いの心、人を思いやる気持ちがまだまだ残っていた、ということです。この3つを真摯に捉え、日本の再生のために力を尽くすことが多くの犠牲者の方々に報いることだと実感しています。

私は、1991年から企業や従業員の社会貢献活動を核にしたCSR（企業の社会責任）の推進をしています。今回の震災では、企業や従業員は、義援金、NPOの活動などへの支援金、物資の提供、ボランティア参加など、様々な形で支援をしています。そのコーディネーターやNPOへの支援相談などをして

います。今年初めに、タイガーマスク現象が巻き起こりましたが、震災での活発な動きを見ると、今年はまさに「寄付元年」になりそうです。昨年末、寄付白書が発行されました。そこで明らかになった事は、

アメリカの個人寄付は寄付全体の94.7%、法人が5.3%。日本は個人寄付が52.5%、法人が47.5%でした。また、個人寄付の規模では、アメリカが一世帯あたり日本円換算で約194,000円に対し、日本は13,460円です。今後の日本再生を考えると、少子高齢化、コミュニティ再生などの課題、そのためのNPOセクターの育成など、マクロ的に考えても、また個人の自己有用感の醸成や助け合いの心の醸成などミクロ的に見ても、個人の寄付文化の醸成は日本にとって重要なテーマです。従来、善行と言うと、マザーテレサに代表されるように、非常にストイックなものでなければ、という強迫観念がありました。一方、お金を稼ぐ、という、強欲でダーティなイメージを持ってしまい、善行のためにお金を使う、という寄付や募金の発想を持ちにくい現状がありました。

そこで、当協会では、個人の寄付文化の醸成のために、寄付をするかっこいい大人のモデルを示したい、と考え、社会的な寄付をした人を顕彰する「まちかどのフィランソロピスト賞」を創設して、今年で14年目になります。7年目からは青少年の部も設けましたが、子どもたちの寄付・募金活動が想像を超えて各地で行われていることがわかったと共に、子どもの寄付・募金というものには、共感が多く得られることがわかりました。そこで、日本にも点在する子どもたちの募金活動を全国に広げたいと考えています。具体的には、アメリカ・ニューヨークにある団体Common Centsの運営する「Penny Harvest」という、サービスマーケティングという手法を取り入れた、子どもたちの募金活動を参考にしたプログラムを広めたいと思っています。5月28日には同団体代表のTeddy Grossさんを招聘して、東京でセミナーを開催します。お金を集め、使うことは、自己責任とともに信頼の絆を創るための社会責任を伴うものであることを子どもたちから体感してもらいたいと思っています。

実際、寄付・募金は、お金の信頼を乗せて社会の中で循環させるものです。そうした意味においては、セゾン投信の、長期投資に特化した事業展開も、まさに同じなのだと思います。寄付は、信頼の上に健全で活力ある社会・市場を創造するという長期投資のためのレッスンの意味もあるのかもしれませんが。

今回の震災で、多くの貴重な浄財が循環しています。その流れを一過性のものに終わらせないよう、共に連携・協力しながら、元気で温かい日本の未来を創る、という共通の目標のために力を尽くしてまいりましょう。

【執筆者プロフィール】

岡山県生まれ。

1973年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業後、高等学校英語科非常勤講師を経て1985年上智大学カウンセリング研究所専門カウンセラー養成課程修了、専門カウンセラーの認定を受け、1985年より1991年まで中学・高等学校心理カウンセラーとして生徒・教師・父母のカウンセリング従事。1991年社団法人日本フィランソロピー協会に入職、事務局長・常務理事を経て2001年6月より理事長、現職。企業の社会貢献を核にしたCSRの推進に従事。主に、企業の社会貢献活動のコンサルテーションや企業とNPOのマッチングなどに携わり、民間の果たす公益活動の推進を目指している。

編・著書；『フィランソロピー入門』（海南書房）、『60歳からのいきいきボランティア入門』（日本加除出版）、『社会貢献へようこそ』（求龍堂）

主な公職；中京女子大学コミュニケーション研究所 客員教授、明治大学経営学部 兼任講師、財団法人まちみらい千代田 理事、社会福祉法人東京都社会福祉協議会 評議員、公益財団法人公益法人協会 評議員、東京善意銀行 運営委員、財団法人地球環境財団 理事

日本フィランソロピー協会 <http://www.philanthropy.or.jp/>

| | | | | |
|---------|---|-------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 【東京】青山 | | 「値下がり投資信託をかしこく見直すセミナー」～ワイナンスシャルプレミア | | |
| | 5/21(土) 13:00～16:00 | uraku AOYAMA バンケットルーム | 参加費 2,000 円 (全額を義援金として寄付いたします) | 中桐啓貴氏(FP 事務所ガイア代表)、荒川宗治氏(シニアソムリエ)、中野晴啓 |
| ★ | 長期熟成を語るに相応しい「マネーとワイン」をテーマに 2 部構成で開催します。 | | | |
| ★ | <p>第一部:マネーの部 ・今後の日本復興と世界経済の行方～中野晴啓(弊社社長)</p> <p>・値下がり投資信託を見直す方法～中桐 啓貴氏(FP 事務所ガイア代表)</p> <p>第二部:ワインの部 ・世界の歴史を紐解くワインセミナー～荒川 宗治氏(シニアソムリエ)</p> <p>(プレミアムワインの試飲がございます)</p> <p>《特典》参加者全員に FP 中桐氏の著書「株・投資信託、いま損を抱えている人の投資の処方箋」をプレゼント。希望者は後日、FP 事務所ガイアの個別無料相談にお申込み頂けます。(通常 10,500 円/1H)</p> | | | |
| 【東京】東池袋 | | 「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定 | | |
| | 5/25(水) 19:00～20:00 | セゾン投信会議室 (サンシャイン 60 54F) | 参加費 無料 | 瀬下哲雄(ホトフォリオマネージャー) |
| ★ | 毎回、人気のセミナーですので、申込はお早めに！投資をはじめの前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでもOK。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。 | | | |

(2) 当社役職員が講師として参加するセミナーのスケジュール

| | | | | |
|---------|---|--|----------------------------------|-------------------------|
| 【栃木】矢板 | | 震災チャリティーセミナー 「ミドリムシの専門家出雲 充氏 × 経済・お金の専門家 中野 晴啓」 | | |
| | 5/22(日) 10:00～11:30 | 矢板市エコハウス 2 階 | 参加費 無料 | 出雲充氏(株式会社ユーグレナ)、中野晴啓 |
| | チャリティーミニセミナー 第一部「ミドリムシが栄養のアンバランスを解決する！」出雲充氏 第二部「これからの経済はこうなる！」中野晴啓 | | | |
| 【北海道】北見 | | 「マネー&ライフセミナー」 in 北見 | | |
| | 5/28(土) 10:00～12:30 | 北見商工会議所 (経済センター)3F | 参加費 無料 | 太田孝氏(日本経済新聞社札幌支社長)、中野晴啓 |
| | 主催は日本経済新聞社札幌支社と日経オーロラ会の共催により、北見商工会議所の後援で開催されます。 第一部:10:00 ～ 11:10 「大震災から新しい国の『かたち』を考える」／ 太田孝氏 第二部:11:20 ～ 12:30 「日本経済復興に向けた生活者が持つお金の役割」／ 中野晴啓 | | | |
| 【北海道】帯広 | | 賢くお金を育てよう! 『投資はいつから・いくらから始めるの?』 | | |
| | 5/29(日) 14:00～16:00 | とかちプラザ 3F 307 号 | 参加費 500 円(参加費の一部は被災地の寄付金に充てられます) | 中野晴啓 |

震災後、「いま、私たちにできること」は日本人として誇りと勇気を持って復興へ歩み出すこと。寄付も大事なことです。一時的な支援だけでなくお金をまわして経済を支えることも、日本の復興に繋がります。被災していない私たちが、どんな形で被災地を、日本を応援できるかを一緒に考えてみませんか？投資は難しい、損ををすると思う方が世間では一般的です。講師の中野が様々な体験を踏まえて解説する投資についての入門編。どなたでもご参加いただけます。

| | | | |
|--|----------------------|---|--|
| 【福岡】福岡市早良区 | | 「震災後、今こそ考える正しい投資」 | |
| 6/4(土) 13:30~16:30 | 福岡市早良市民センター 第一会議室 | 参加費 1,000 円(会場代金 3,000 円を除いた全額を東北 震災復興義援金として寄付し ます。) | 島田知保氏(イボットソ ン・アソシエイツ・ジャパ ン(株)投信まとなび編集 長)、中野晴啓 |
| <p>震災後の自粛ムードで景気停滞させないために、正しい投資とは何かを学びましょう。今回のセミナーには「投信まとなび」編集長の島田さんにも参加していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「震災後、今こそ考える正しい投資」中野晴啓 ・「良い投信・悪い投信の見分け方」島田知保氏 | | | |
| 【福岡】福岡市城南区 | | WAKODO 塾 VOL3 ー夢とお金で未来を創るー | |
| 6/5(日) 14:30~17:00 | 福岡大学A棟 A803 | 参加費 500 円 | 中野晴啓 |
| <p>資産運用の勉強会「若人塾」。前回の若人塾(福岡)で講演してから約半年。積立王子ことセゾン投信代表の中野が福岡大学で再び講演します。今回はソロでの講演会。投資について分かりやすくお伝えします。「若人塾」とは言っていますが、参加者の年齢は問いません。心が若い方なら大歓迎です。投資は難しい、損ををすると思う方が世間では一般的です。講師の中野が様々な体験を踏まえて解説する投資についての入門編。どなたでもご参加いただけます。</p> | | | |

<詳しくは> [セゾン投信ホームページ](#)より、各セミナー主催者へお問い合わせください。

セゾン投信からのお知らせ

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2011年5月9日~7月末日)

下記は2011年5月9日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

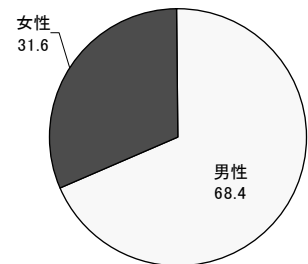
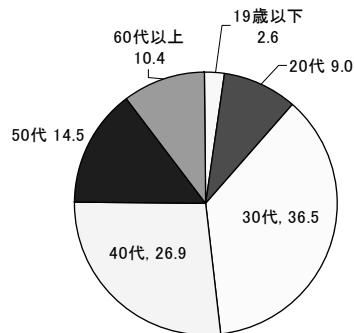
| | |
|-------------------------|-------------------------|
| セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド | 5/30(月)、6月6日(月)、7月4日(月) |
| セゾン資産形成の達人ファンド | 5/30(月)、6月6日(月)、7月4日(月) |

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、下記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

日経ヴェリタス(2011年4月24日、5月1日、5月8日)ひとクロスロードに中野晴啓「ツミタテ王子の挑戦」として、3回連続で中野のインタビューが掲載されました。セゾン投信の発想の原点から、会社設立までの6年にもおよぶ年月、そして現在に至るまでの中野の思いが紹介されています。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数43,865口座
(2011年4月28日現在)



※3月末現在
(単位:%)

セゾン投信の素顔

「改めて感じたこと」

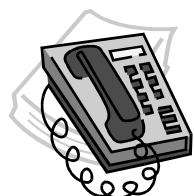
「お客様窓口」では毎日みなさまからのお電話や書類をお受けしております。

最近では「こちらの揺れはものすごかったけど、セゾン投信のみなさんは大丈夫でしたか?」とお電話をくださった東北のお客様や「いま避難しているのですが、子供の口座を作りたいので口座開設キットを送ってください」と避難先から資料請求してくださったお客様もいらっしゃいました。

また、送っていただいた書類に「東北関東大震災で大変でしょうが、頑張ってください。祈っております。」とお手紙を付けてくださった九州のお客様も。

この2ヶ月でお客様とのつながりを今まで以上に感じ、とても温かい気持ちになりました。私たちはみなさまからたくさんのお力をいただき、支えていただいております。

営業部 畑中由美子



「“今”を変えるチカラ」

弊社ホームページ上で展開している社長対談(<http://www.saison-am.co.jp/taidan/index.html>)、私が担当している企画であり、これまで多くの「“今”を変えるチカラ」を持った異業種の方との対談に同席してきました。中には医者、シェフ、職人等どちらかというと、技術を高めることに没頭し、経営や組織、人といったものには縁遠いイメージの職業の方々もいらっしゃいましたが、それは私の大きな勘違いでした。それぞれが、自分ひとりだけの力量を理解し、夢や目標を達成するために周りの「人」をどう巻き込み動かし大きな力にできるかを考えているのです。つまりマネジメントです。それはいずれも小さな集団から始まっていますが、いずれ業界や日本を変えるチカラになる可能性を秘めていると感じました。

私は今回の対談を通じて、こうしたチカラを持っている人には、技術や才能、アイデアはもちろんですが、そこに人を惹きつけてやまない人間的な魅力というものを感じずにはいられません。この企画を通じて、その魅力を少しでも皆さんお伝えできたらと思っています。シリーズも後半です!ぜひ一度ご覧になってみてください。

管理部 佐藤恭子